

芸振



大分県芸術文化振興会議

シンボルマーク

No.109

平成13.3

もくじ

芸振が私の支柱	1
大分県民芸術文化祭審査員・感想	2
〃	3
第2回大分県民芸術文化祭賞一覽	4
加入芸術文化団体の紹介	5
平成12年度基金事業報告	6
〃	7
事務局だより	8

発行人：脇 正人 編集人：矢野嘉昭 (題字：牧 泰詩)



芸振が私の支柱

洋舞踊家 佐藤 朱音

(平成12年度文部省大臣表彰 地域文化功労者)

私も追われ追われて40年やってまいりました。最近でこそ、だいぶくたびれてまいりましたが、若い頃は馬力の塊そのもの。昭和40年10月、「芸振」の主催による第1回大分県芸術祭には、オリジナル作品「百合若・万寿抄」で参加し、精一杯大奮闘しました。そしてこの作品がその後ずっと続く私の創作活動の出発点となりました。勘定抜きで入れ込んで赤字を作ってしまう、結局は親掛かりで…。いづこも同じ、いつの時代も同じ、芸術バカというか。その頃から芸振の先生方には教えられ、励まされました。垣根を越えて他の分野に理解者をもっているということが、どれだけ心強いことか、痛切に感じたことでした。

芸振も36年目に入ります。丁度私も歩みを共にしてきたわけですが、何より私にとっては大きな転機でもあったソ連バレエ界との交流のチャンスを頂きました。昭和62年、海外研修員としてバレエ界の大物であったブルーキン教授と出会い、大分にお招きできましたが、未だ平和条約を結んでいない国の方を地方にお迎えするというのがどれだけ複雑なことか、次々とやってくる難問題に明け暮れる私にとって、「外国からのお客様は大事にしようえ」と快くおっしゃって下さった先生方の暖かいお心遣い、そして正義感、芸術文化に対する分野を越えた熱意、友情、開拓心に頭下がる思いを幾度となく致しました。芸振の役員の方との交流に支えられて、今日までの12年間、無事に親交を重ねてまいっております。

芸振は先見のなリーダーシップを持って各界を束ね、大分県芸術界を支えてきた掛け替えの無い大きな柱だと思います。言うまでもなく誰しも一家を張って、厳しい競争社会の中、営業活動をしていかねばならない身ではありますが、芸術に仕える者どうしとしてお互いの思いやりというものは決して失われてはならないし、先人達が育ててこられた暖かい心遣い、思いの伝統が引きつぎ、引き継がれていくことを心から望んでやみません。



木村方昭 (創元会)

大分県民芸術文化祭審査員・感想



伝統と創造

大分経済同友会代表幹事
秋月睦男

第2回大分県民芸術文化祭は県内各地で多彩なフェスティバルを繰り広げながら地域を息づかせた。催しにはそれぞれの特色が生かされており、素晴らしいもので、回を重ね充実さをみせつけているのも頼もしい。私が観賞する機会を得た数々は、今もお脳裏に鮮明な映像を焼き付けており、その感動のときめきが残っている。ふるさと大分、その風土や歴史のなかで人々が生きその営みのなかで生命が息吹く。生命を包む空気、気象、気候は住む人々に気質、気風、気性、気力、元気等、様々な気を育む。人々は自然と触れ合い、人と出会い喜怒哀楽の気を共にするなかでその生きる証として“ゆかりの芸術文化”を産んできたのだろう。私は各地域での催しのなかに祖先の人々からの伝統芸術文化の素晴らしさと共に現在に生きる人々による新しい芸術文化が創造しつつある息吹も肌で感じた。伝統と創造、私共は祖先の人々に想いを馳せながら未来へのロマンを持ちたいと思う。

地域文化を世界舞台へ

別府大学客員教授
佐々木均太郎



対象イベント30。どれも真剣で情熱的な取り組み、選考は難事。もちろん、選考基準を頼りに採点。五項目の基準は①継続性②先駆性③地域性④話題性⑤技術性。審査にも個性あり。私は地域性と技術性にウエイトを。特に地域の伝統的特性を生かし住民の文化レベルが高揚するような活動。単なる一過性のお祭りではなく文化技能を高めてゆく芸術性の練成。そしてその学術的探究にも志向した活動。

大賞一庄内神楽祭り。伝統ある12神楽座、児童・高校生4座。まさに町民オールキャスト、地域性満点。さらに各座が競って舞曲技能向上に磨きをかけ、今年はそのルーツを探索するため出雲・石見神楽を招いて共演。学術的な歴史的探究にも手を初めている。地域閉鎖でなく全国ネットをも志向して、大賞の価値充分。

21世紀は、こうした地域共同体の伝統文化に一層の琢磨をかけ、その成果を世界の舞台に登場させてゆくのも決して夢ではないのでは。



芸術文化の熱気に触れて

大分県教育委員長
立花旦子

審査委員などとはおこがましい話なのだが「少しは芸術文化の風にも触れてみよ」とのことであろうと解釈して喜々として参加させてもらった。開催日が重なる行事があったりして、一部にしか接することが出来なかったが。地道に伝統的な文化を伝承するために活動を続けて来られた歴史のあるグループ、新しい文化を創造しようと活動しているグループと様々なグループがこの行事を恒例化して、活動の維持の場として取り組んでいる姿勢にすごい熱気が感じられた。いずれのグループも殆どがボランティアの精神に支えられ、そして多くの人々が何らかの形で芸術文化活動をしている事実に触れ驚嘆した。

今後この行事を継続することにより、関心のなかった人々にも芸術文化に対しての新たな目を開かせ、また地味な活動をして来られた方々にも光を当てる機会ともなるだろう。そして豊の国独自の伝統的文化の素晴らしさ、あるいは新しい芸術文化を宣伝する機会でもある。その結果、これらの芸術・文化を継承する若い人々が増えることを期待している。



芸術文化は楽しんで

豊の国づくり塾運営委員長
溝口薫平

「大分の芸術文化も奥深いものだな」

今回、審査をさせてもらいながら、私は思いました。候補の行事はいずれも優劣つけがたく、それぞれの地域のエネルギーを、私は感じました。そして、審査をさせてもらうというよりも、いつの間にか、私はそれらの行事へ心ゆたかに思いをはせていました。

湯布院では、毎年、映画祭や音楽祭を催しています。映画を見たい、音楽を聴きたい、それが始まりでした。長年やってこられたのも、その思いがあったからです。芸術文化はやはり楽しくなければ、長続きはしません。

そういう意味では、今回受賞された団体の皆様には、芸術文化を楽しみたい、その思いが強く感じられました。

今後とも、皆様が、芸術文化をより楽しみ、より発展されるようお祈り申し上げます。

高文連・若者のエネルギー

大分県芸術文化振興会議会長
脇 正人



豊の国新たな出発2000。第2回大分県芸術文化祭で多くの芸術加盟団体が高い評価を得たことは大変喜ばしいことです。

その中で、私は第25回大分県高等学校総合文化祭に触れたいと思います。参加者1,200名、入場者数10,000人を見ても第25回大分県高等学校総合文化祭は新たな出発を感じさせる記念すべき祭典であったと思います。

バトン・マーチングパレードに始まり国際交流、近県交流に至る企画は高文連ならではの多岐にわたるものでした。また、小・中学生の観賞に配慮した時間設定、韓国、熊本県との交流、実施会場の選択等は特に注目すべきものがありました。

創立50周年・第25回文化祭という記念すべき年を迎えた若い世代の集まりである高文連21世紀への新たな出発としては今年はタイムリーでもあり、行事の作品展、記念フェスティバル等は若者らしいエネルギーに満ちたものとして印象に残りました。

芸術加盟団体実施の主要な行事

開幕行事	大分県長唄協会	豊人の唄	10月8日	総合文化センター 音の泉ホール
中幕行事	大分県三曲協会	大分県三曲協会定期演奏会 第40回記念演奏会	10月29日	大分県立芸術会館
閉幕行事	大分マンドリン オーケストラ	大分マンドリンオーケストラ 第14回定期演奏会	11月23日	総合文化センター グランシアタ
	大分県美術協会	第36回大分県美術展	9月26日 ～10月15日	大分県立芸術会館

第2回大分県民芸術文化祭賞一覧

今年の芸術文化関係受賞者

文部大臣表彰	地域文化功労者	佐藤朱音
大分県知事表彰	文化振興功労	大分県三曲協会
第53回全日本合唱コンクール 全国大会金賞		大分市民合唱団 ウィステリア・コール
大分合同新聞文化賞	芸術文化	花水国仁(豊泉)
社会教育功労者表彰	個人の部	仲町謙吉

県民芸術文化祭賞受賞者一覧

賞	受賞行事	実施団体	概要
大賞	地域文化フェスティバル 庄内神楽のルーツを探る 第11回庄内神楽祭り	庄内町 庄内町神楽座座長会	11年に亘り地域住民が一丸となって実施。今年「庄内神楽のルーツを探る」をテーマに新しい一歩を踏み出した。
奨励賞	若者文化イベント アピール2000	アピール実行委員会	多くの若者の参加により、県民文化活動に新風を吹き込んだ。
	開幕行事 豊人の唄	大分県長唄協会	大分の四季を織り込む演出などで高い芸術性の中に伝統芸に親しみを持たせるステージを創りあげた。
	中幕行事 大分県三曲協会定期 演奏会第40回記念公演	大分県三曲協会	40年の活動の節目に、アメリカ人尺八奏者の演奏を加えるなど古典の伝統技法に新しい感性を織り込んだ舞台を創り上げた。
	県美展 第36回大分県美術展	大分県美術協会	長い歴史を持つ県民参加の展覧会として定着しており、内容も充実。大分県の美術水準の向上に寄与している。
	共催行事 しゃべりくり婆さん 一天国と地獄一	大分県民演劇制作協議会	劇団員の永年にわたる修練が活かされた芸術性の高い舞台を提供した。
	地域文化フェスティバル 万葉のふるさとまつり	山国町	「万葉」をキーワードに、ユニークなイベントの数々を町民一丸となって実施し、全国に情報を発信した。
	参加行事 オペラコンサートとオペラ「瀧廉太郎」ハイライト	大分県県民オペラ協会	創作オペラ「瀧廉太郎」を中心にオペラの名場面をわかりやすく紹介。県民のオペラ鑑賞の機会を増やすことに貢献した。
	参加行事 大分県高等学校文化連盟創立50周年記念 第25回大分県高等学校 総合文化祭	大分県高等学校文化連盟	50周年の記念行事として、国際交流、近県交流のステージを高校生はもとより広く県民に提供した。
特別賞	参加行事 九重の風はうたう	九重町民劇場	町民手作りのステージ。「素人芝居」という地元の素材をテーマに地域文化の振興に寄与した。
	閉幕行事 大分マンドリンオーケストラ第14回定期演奏会	大分マンドリン オーケストラ	マンドリン、合唱、管弦楽等県内の音楽団体を結集し、総勢220名のオーケストラを組織。県内初演の大曲「荘厳ミサ曲」に取り組むなど、聴衆に大きな感動を与えた。
	オープニングステージ 「歌おう日本の心 ～大分から21世紀へ」	第2回大分県民芸術文化祭オープニングステージ 企画委員会	新しい大分の歌「ふるさとへの友」の制作など、郷愁と感動を呼び起こすステージを作り上げた。



水彩連盟大分支部の活動

水彩連盟大分支部支部長
酒井 定

水彩連盟大分支部の活動内容を紹介します。当支部の規約第二条に、この会は、水彩連盟本部と連携しながら、大分地域の水彩画技術の向上と、普及、振興をはかることを目的とするとあります。なお、続いて第三条には(1)展覧会の開催。(2)講習会(研修会)、写生会の開催。(3)機関誌の発行。(4)その他目的達成のための事業と規定してあります。

之によって、支部は毎年前記の(1)(2)(3)の事業を年度始めの総会で企画承認し、下記の年間活動を実施、永年にわたり継続、目的達成に前進しています。

記

- (1) 水彩連盟大分支部展の開催 (年間1回)
- (2) 当支部主催の水彩画実技講習会 (年1回)
- (3) 当支部主催の風景写生会 (年1回)
- (4) 機関誌「虹」の発行 (年3回程度)



第43回水彩連盟展大分展／大分県立芸術会館
栗林忠男さん(県出身画家)の作品解説を聞く観賞者
(大分合同新聞社提供)



劇団 OITA TOYS CLUB

代表
永野憲地郎

劇団OITA TOYS CLUBは、1992年6月に結成、現在高校生から30歳代まで、男女合わせて約30名のメンバーが参加しています。年2回の公演活動をほぼ定期的に続けており、稽古は市内の公民館を利用して、週3回ほど行っています。芝居と云えば学校の観劇教室以来接する機会も少なく、まして劇場に足を運ぶとなると敷居が高く感じられるかもしれませんが、私たちは子供から大人までが楽しめる「活劇」を目指しています。



2000年は6月・11月に大分市コンパルホールで公演させていただきましたが、2回とも満杯の盛況でした。また「大分市まちづくり活性化協力賞～ことの部」で表彰され、劇団としても更なるステップアップを目指しています。今年も4月・6月に公演(於大分県立芸術会館)を控え、稽古や製作にも熱が入りつつあります。劇団では常時キャスト・スタッフを募集しています。興味のある方は是非一度稽古を御見学下さい。

平成12年度基金事業報告

5月

日時	会場	鑑賞人員	公演団体
5月23日	津久見市 日代小学校	128	カテ・デ・ギターラ



5月23日/日代小学校

2月

日時	会場	鑑賞人員	公演団体
2月9日	安心院町 安心院小学校	254	Y O の会



2月9日/安心院小学校

12月

日時	会場	鑑賞人員	公演団体
12月2日	安岐町 安岐小学校	350	大分県庁 職員吹奏楽団



12月2日/安岐小学校

6月

日時	会場	鑑賞人員	公演団体
6月6日	津久見市 千怒小学校	190	コール銀河
6月3日	安岐町 西安岐小学校	187	グループUNO
6月18日	姫島村 離島センターやはず	156	大分マンドリン オーケストラ



6月3日/西安岐小学校

大分県芸術文化基金事業（ファミリー芸術劇場・学校巡回公演・文化キャラバン）は昭和60年に始まり、今年で16年目になりました。開始当時はバレエ、混声合唱など年に4、5会場の公演でした。今年は全19会場で公演し、各会場でたいへん喜ばれました。

文化キャラバン

日時	会場	鑑賞人員	公演団体
11月4日	安心院町 安心院町文化会館	120	大分マンドリン オーケストラ
11月1日 ～5日	竹田市 水琴館	1320	大分県美術協会 (写真部会)

11月



11月4日/安心院町文化会館

平成12年度基金事業報告

7月

日時	会場	鑑賞人員	公演団体
7月15日	香々地町 香々地中央公民館	366	大分県庁 職員吹奏楽団
7月15日	直入町 下竹田小学校	59	大分大学 混声合唱団
7月16日	朝地町 温見小学校	34	大分大学 混声合唱団



7月16日／温見小学校

基金事業の公演団体については毎年6月の総会時配布の資料に公演希望票を入れています。今まで公演されたことのない団体の方の希望もお待ちしております。

日時	会場	鑑賞人員	公演団体
11月4日	津久見市 長目小学校	25	大分県人形劇 サークル協議会
11月7日	安心院町 佐田小学校	128	大分県人形劇 サークル協議会
11月30日	安心院町 津房小学校	94	カサ・デ・ギターラ



11月7日／安心院町佐田小学校

8月

日時	会場	鑑賞人員	公演団体
8月5、6、8日	宇佐市 サンサン館	880	大分県美術協会



8月5、6、8日／高山辰雄ジュニア県美展

日時	会場	鑑賞人員	公演団体
10月12日	安心院町 深見小学校	197	合唱団 藍
10月19日	香々地町 三浦小学校	145	明野レディース コーラス
10月20日	朝地町 朝地中学校	121	グループUNO

10月



10月12日／深見小学校

ファミリー芸術劇場

日時	会場	鑑賞人員	公演団体
10月22日	山国町 コア山国	414	大分県庁 職員吹奏楽団



10月22日／山国町 コア山国

事務局だより

組織検討委員会から

平成12年8月24日に平成12年度第1回組織検討委員会を開催しました。その後4回の会議を開催、芸振の組織・運営について検討を重ねています。

組織検討委員会委員名簿

委員長	中 沢 とおる	副会長
委員	十 時 良	常任理事
〃	倉 田 紘 文	〃
〃	中 野 幸 和	〃
〃	辛 島 光 義	〃

委員	久保木 眞 人	常任理事
	脇 坂 秀 樹	副会長
	佐 藤 朱 音	理事

会費納入のお願い

平成12年度会費の納入が済んでいない方はなるべく早く納入してください。振込用紙がない場合は事務局までご連絡ください。お送りいたします。

また、平成13年度会費の振込用紙を同封していますので、よろしくお願ひします。

新 会 員 紹 介

■団体会員

部門	団体名	事務局所在地	代表者氏名及び住所		事務局長氏名及び住所		団体の目的	会員数	設 立 年 月 日	設立後の経過
			氏名	住所	氏名	住所				
音楽	日独音楽協会		北村宏通		小川 一		ドイツ音楽の研究及び演奏を行うことにより本県芸術文化の振興に寄与する。	15名	昭和60年 4月1日	○会員全員によるドイツ歌曲の演奏会 ○臨京子ピアノリサイタル・北村宏通独唱会の開催等
音楽	津久見椋の実会 (後の美少年少女合唱団)		増村隆夫		福谷幸則		「子ども」のために、優れた芸術を親と子が鑑賞し、児童文化の創造発展に努め、あわせて親子のきずなを強くし、子どもたちの健全な友情と自主性、社会性を育てるため、そいうある催しに取り組むことを目的とする。	130名	昭和48年 1月	○昭和55年9月第1回定期演奏会、今年度で第21回を迎える。 ○昭和56年に行なわれた杉並児童合唱団竹田公演研修に参加以後、毎年、杉並の指導者を招聘し、レッスンを開いている。

基金運営協議会開催

芸振会議の行なう文化事業の振興と円滑な運営をはかるため、芸振会長の諮問機関として基金運営協議会を設置しています。

さる3月1日、平成12年度基金運営協議会を開催し、平成13年度事業概要などについて審議がなされ、諮問どおり答申が行なわれました。

団体代表・事務局などの交替は届け出を

団体事務局の所在地、代表者、事務局等に変更がありましたら、芸振事務局までお知らせください。

〒870-8501 大分市大手町3-1-1
大分県企画文化部文化振興課内
TEL 097-536-0522

平成13年度通常総会のお知らせ

平成13年度通常総会を6月14日(木)に予定しております。日時等変更もありますので、5月中旬頃お送りする案内をご覧ください。是非ご出席ください。

編集委員会から

大分県文化年鑑2000年版の編集が進んでいます。部門別活動状況の原稿の執筆委員、編集委員の皆さん、年間文化行事の調査にご協力をいただいた加盟団体・文化施設そして市町村の皆さんありがとうございました。

また、2000年版の編集と並行して平成12年度通常総会で設置された大分県文化年鑑編集検討委員会では2001年版の編集に向けての検討を重ねています。21世紀最初の文化年鑑として、今後の方向をいろいろな角度から考えています。